

【学校名】北海道上ノ国高等学校
【活動名】いじめ根絶討論会
【学年】全学年
【教科等名】特別活動
【活動のねらい】 <ul style="list-style-type: none"> ・いじめを根絶するための考えを深める。 ・他学年との意見交流を通し、様々な考えに触れ、見方や考え方を広げる。 ・傾聴の技法を活用し、積極的なコミュニケーションを図る。 ・いじめ根絶討論会后、生徒会執行部が地域の小学校に出向き、いじめ根絶に向けた授業を行う。
【活動の工夫ポイント】 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒主体で実施するために、生徒指導部が企画立案や内容の選定、当日の運営補助を行った。 ・学年混合のグループとすることで、意見交流を通して、他者の意見を尊重する機会とした。
【活動の流れ】 ○事前準備 ① 生徒会執行部が討論会の活動のねらいや内容を事前に協議し、決定する。 ② 生徒会執行部が「いじめ根絶討論会」への出席が初めてとなる1年生に事前学習を行い、討論会に向けたフォローアップを行う。 ③ 各班のリーダーと生徒会執行部が打合せを行い、活動のねらいを共有し、当日の流れを確認する。 ○当日 ① 全校生徒が6班に分かれて着席し、班ごとに活動する。 ② 生徒会執行部から活動のねらいや内容、注意事項を説明する。 ③ それぞれの班でアイスブレイクを行う。 ④ 討論のテーマを「SOSが出しやすい環境とはどんな環境か」として、班ごとに考え、理想の環境を実現するためにどうすればよいか意見を出し合う。 ⑤ 2023 カフェミーティングで提示された「いじめの認知件数と電話カードにかかってきた相談件数」を比較することでSOSは出しづらいことを確認した後、具体的な事例を取り上げ、SOSを受け取る側の視点に立ち、どのように行動するか考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な事例・・・「クラスのAさんが、いじめられていることを勇気を出して打ち明けてきました。」 ・目標・・・「いじめを受けているAさんを助けるために、自分として何ができるか。」 </div> ⑥ 今回の活動を踏まえ、普段の生活の中で心掛けることを考える。 ⑦ 生徒会執行部が「いじめ根絶討論会」のまとめを行う。 ⑧ 全校生徒は振り返りシートに記入して生徒会執行部に提出する。 
○事後 ① 生徒会執行部が生徒の振り返りから「いじめ根絶宣言」を作成する。 ② 生徒会執行部が地域の小学校に出向き、いじめ根絶に向けた授業を行う。 ③ 当該活動について、町広報誌を活用し、保護者や地域の方々にも理解を深めてもらう。
【本活動における成果等】 <ul style="list-style-type: none"> ・SOSを出す側と受け取る側の両方の視点で考えることで、SOSを出しやすい環境にするためにどのようなことが必要か、一人一人が考えることができた。 ・具体的な事例について考えたことで、事後アンケートの結果から、SOSを受け取ったときにどのように行動するべきなのかを考えることができた。 ・日常の何気ない言動や行動が他者を傷つけてしまう可能性があることを知ることで、他者への気遣いができる生徒や他者の気持ちを考えようとする生徒が増えた。 ・生徒同士が学年を越えて話し合うことによって人間関係が構築されるとともに、いじめに対する認識を同じ視点で共有することができた。 ・いじめ根絶討論会だけではなく、継続的で日常的な取組が必要である。

【活動の様子】